

(有)飯村製作所

金属の塊を削ったり穴をあけたりして、様々な機械の部品を製造しており、有名な自動車工場や食品工場の生産ラインで使われることも多いです。工場に入ると大型マシニングセンターが目につきますが、その隣では昔ながらの旋盤やフライス盤も活躍しています。職人氣質の父と新しい機械を駆使する息子の2人で、毎日いろんな仕事をこなしています。



<老獯な職人魂+若い挑戦魂=?>

町工場では珍しい大型マシニングセンターを備え、また旋盤・フライス盤を駆使した職人加工ができるため、他の工場で加工できない部品の注文が舞い込んできます。

大型マシニングセンターには36種類のドリルが内蔵されていますが、ドリルが切り替わる様子は壮観です。ドリルの切り替えを含めてコンピューターに入力した順番で加工手順は決定されます。その際に活かされるのが、創業42年という長年の経験です。コンピューターがついていない旋盤・フライス盤で培った「職人魂」があるからこそ、最新の機械を使って、比較的大きい「一品モノ」の注文にこたえられるのです。最大で横2m、縦1mまで、金属の塊を削れます。

昔ながらの旋盤・フライス盤もまだまだ現役です。コンピューター入力が間に合わない場合とか、比較的小さい「一品モノ」の注文をもらった場合には、こちらの機械が活躍します。

<これぞ現代の町工場だ！>

住居ビルの1階にある町工場で規模は大きくありませんが、父の職人魂を現代の機械を操作する息子が受け継ぎ、大手企業が必要とする機械の部品をしっかりと加工する会社・・・これが飯村製作所です。

(文責：専修大学経済学部遠山ゼミ 卯月晋太郎)